

とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

あさがお

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～



毎日の繰り返しによって園生活のリズムが少しずつ整ってきました。

先日の保育参観では、保護者様や子どもたちの素敵な姿が見られました。子どもの目線に合わせながら一緒に戸外遊びをされているお家の方の姿が見られました。生活の節目のタイミングでは、子どもたちによく分かる言葉掛けをして、かかわっておられる方もいました。何よりお家の人にかかわってもらっている子どもたちのうれしい気持ちが表情に表れていました。私もうれしい気持ちでいっぱいになりました。

次回の参観でも、子どもたちの近くでそれぞれの育ちを感じとっていただけると幸いです。



「ダンゴムシ見つけた!」



子どもと一緒に身体を動かす



遊びの楽しさを共有する




目線を合わせてかかわる

今の子どもたちの成長に合わせ、教育のねらいをもちながら様々な活動を進めています。

～幼児期からのキャリア教育を大切に～

ねらい ①身近にいる地域の人を知る
②わたしたちの暮らしを支えている労働について知る



稲作体験 継続中!!
「わくわく・ドキドキ♡」

みなさまに配布しました幼稚園マニフェストにあるように「キャリア」教育を大事にして、年間計画をたてました。この5月に地域の田んぼに行かせていただき稲作体験をしようと準備していましたが、雨続きで実際の体験ができませんでした。

しかし、子どもたちが学ぶことはないだろうか話し合いをもち、ゲストティーチャー「澤田 理恵先生」に来ていただくことにしました。実際の田んぼの写真を見せてもらい、お米づくりの過程を伝えてもらい、子どもたちが学びを深めました。



「見たことある!」



「お米づくりって大変だね。」



「ふわふわしてる!」

実物の米ぬかや白米に触れる

手作りのお米図鑑を見せてもらい子どもたちは、興味・関心をもちました。そして食物連鎖のしくみを教わり、命をいただく意味を知り、それぞれが理解を深めました。



地域とのかかわりを通して、園生活を豊かなものにする

～豊かな経験は、生きる力へ～



実際のお米づくりの写真を見せてもらうと、子どもたちの「探求心」は高まりました。
りえ先生と出会った後、4歳児・5歳児は田んぼへ見学に行ってきました。



心が揺さぶられる体験を通し、知的好奇心や探求心を育成する
～連続した直接体験の中で学力を伸ばす～



園内の畑や園庭には、たくさんの野菜の栽培が進んでいます。畑には、サツマイモのツルを植えました。事前活動から事後活動まで、それぞれの学年が責任をもって取り組みを進めています。



①目的を伝え合う【5歳児】



②行動に移してして実行する

今までの栽培活動の経験を活かし、5歳児クラスがサツマイモのツルさしをしました。土づくりも出来る範囲で体験しました。
教師の意図的な配慮で3・4歳児は、見学に行きました。5歳児は、植えるコツを伝えていました。さすがですね!



③見学・参加する【3・4歳児】



④自主的に事後活動を進める

身近なところで野菜の生長を見守り、世話をし事後活動をします。生長過程を日々感じる事が自分で育てたものであるという実感と愛着が湧いてきます。生長した野菜は、食育にもつながっていき、命の取り組みの中で子どもの探求心を育てています。「マジカル・マジカル大きくな～れ!」の声が園内に響いています♡

生きた体験をするには、環境を具体的なねらいや内容にふさわしいものとなるようにすることが大切です。子どもたちの生活する姿に即して、その時期にどのような経験を積み重ねることが必要かを明確にし、そのための状況やものや人、場や時間、教師の動きなどに関連付けて作り出していきたいと考えています。

あさがおイラスト: そういちさん

あさがおイラスト: ほのかさん



文責 まつなが あい

